くらまてんぐ

（仮題）ニュース題名募集しています。

2008/1/31（金）　No.1
発行：第９回地方自治研究
全国集会京都実行委員会
事務局：京都自治労連内
TEL075-801-8186・FAX075-801-3482
kyoto-jichirouren@labor.or.jp

秋の京都で世直しを

第９回地方自治研究全国集会に御参加をお待ちしています

第９回地方自治研究集会まで後１０月足らず、地元京都では昨年６月、京都の住民団体の皆さんと京都実行委員会を立ち上げ、京都で起こっている地方自治を巡る様々な情勢を交流しながら準備を進めています。

地域経済の疲弊の中で、昨年３０名を超える自殺者を出した京丹後地域では、「いのちを救う丹後一斉行動」がとりくまれ、３０名の人が生活保護相談会に訪れました。

地域や職場での自治研活動もかつてなく取り組まれています。

今、京都は市長選挙が戦われています。中村市長の誕生で皆さんをお迎えできるようがんばっています。

京都の自治の底力
パワーアップするためがんばっています

福知山市行財政研究会中間報告会
フォーラム「福知山の今、これから」

福知山では市職労を中心に、市内の労働団体や市民の参加で、立命館大学平岡教授の支援の下、財政分析に取り組み、11月までに６回の研究会を重ねてきました。両丹日々に掲載されたこともあり、当日は初めて見る顔の方も多数。医療、商工、教育、自治体労働者など５人の方が報告。平岡先生からも財政分析にあたって「維持可能な地域社会」、住民の基本的人権、住民自治・住民参加と地域内分権の視点からの評価が必要との助言がありました。会場からも率直な意見が出され、「市役所に市民の目線で考える組合ができてうれしい。」との声も寄せられました。

京都自治体学校

第５回京都自治体学校は10月延べ180名の参加で開かれました。

岡田教授をコーディネーターにした、大山崎町長、中小企業家同友会、京都自治労連委員長のパネル討論は、「自治の力」を育てることの大切さを教えてくれました。

税務の共同化問題で担当者会議

京都府では徴税率の引き上げと効率化を目的に、広域連合を作って、市町村と府の税務事務を一元化する構想が進められています。

税務事務は地方自治の根幹に関わる仕事です。

一般行政と切り離し、機械的に徴税率のアップだけを求めることは大問題です。

担当者会議では、今後討議資料を作成し、自治振興課との交渉を行うとともに、各市町村でも早急な実施をしないように申し入れ、住民にも知らせていこうと話し合われました。

プレ自治研

企画中

「合併検証から地域づくりを展望する」
３月15日（土）午後1時30分から４時30分
三和荘ホール
講演：「全国の合併後のまちづくりから学ぶもの」
岡田知弘京都大学教授
■あきる野市、丹波市、NPO法人みわから取組報告

現地企画に知恵を絞っています

大衆の芸能として発展した六齋念仏踊り

―― 歓迎行事をお楽しみに ――

実行委員会事務局では、京都の庶民の伝統文化に触れていただきたいと全体会での歓迎行事に「六齋念仏踊り」を準備しています。

仏教では毎月８・14・15・23・30日を六齋日と呼び、この日には鬼などが災いをもたらすと言われていました。

これを追い払うために鉦や太鼓を打ち鳴らしたのが六齋念仏踊りの始まりで、やがて洛中でいくつもの講ができ、それぞれに芸能としての色合いをとりいれながら発展してきました。

中堂寺六齋会の橋本さんはこの六齋念仏踊りの保存継承に熱意を燃やす方。生活のすべてを六齋が続けられることを中心にされています。仕事の選択の基準も地元に住みつづけられ、ある程度融通のつくことだったとか。

後継者の育成にも力を入れておられます。

不安を払い街を守る庶民の願いから発し、磨きがかかった六齋念仏踊りを、是非お楽しみに。

京町衆

－京都の住民自治の伝統と歴史－

■京都市のホームページから■
…京（みやこ）・地域福祉プランのなかでの一節です。

２　京都の住民自治と住民福祉活動

京都は、その大きな特徴として、自治会（町内会）、社会福祉協議会など、住民が、学区単位で主体的に協力・共同の活動を展開し地域を支えてきていることが挙げられます。都市化が進むと一般的には地域の活動は薄れていくと言われていますが、京都は学区単位に協力・共同の関係が住民の努力で維持され、地域福祉活動もこのような基盤の上に展開されてきました。

京都の住民自治は、歴史的に南北朝時代にさかのぼることができます。当時の戦乱が続くなか、住民が自治自衛生活組織を作るようになり、組織の代表による連帯組織も生まれました。これが京都町組です。近世には、町組は支配組織に組み込まれましたが、この自治の伝統が今日まで脈々と生き続けています。

明治になると、京都では国が学制を定める３年前に全国に先駆けて番組小学校が創立させました。当時の京都には、番組（学区）という行政区画が置かれ、番組毎に小学校が創立されたので、番組小学校と呼ばれました。これらは町衆が私財を投じて建設されたもので、当時の町衆の教育に掛ける熱意が伝わってきます。

国際マンガミュージアム

龍池小学校は、1869（明治2）年11月1日、町の区分をもとにした64の「番組小学校」のひとつ、上京第二十五番組小学校として開校しました。日本の近代教育制度（明治5年の学制発布）に先駆け、京都府からの下付金を得ず、教育に熱い思いを寄せる龍池学区民の寄付で二千両の建築費を調達しての建設でした。

1932年頃の龍池小学校

現在、国際マンガミュージアムとして活用されています。

編集後記
庶民に味方し、正義のために
権力に立ち向かう鞍馬天狗です

１月からＮＨＫで「鞍馬天狗」が放映されています。
大佛次郎は、当初勤王の志士として鞍馬天狗を描いていましたが、戦後、明治政府に批判的になる中で、庶民の味方、反権力の正義の人として性格付けを変えていきました。
今回の「鞍馬天狗」は京都の太秦で撮影されています。
京都・太秦は元祖嵐勘十郎の「鞍馬天狗」も撮影されたところで、当時は１０以上の撮影所が集まり、日本のハリウッドといわれるほど華やかだったそうです。
弱き者がおびえながら暮らしていかなければならない乱れる世に奮闘した鞍馬天狗。
人の道をはずさず乱世にノーを言える力を身につけていきたいと思います。

京のお得情報

舞妓さんに変身

１月15日、京都の町家で舞妓さんに変身させていただける「町家花音」さんを訪問しました。
京都のシンボル八坂の塔の足下、細い路地を入ったところに「花音」さんはあります。
対応していただいたのは横井奏子さん。４年前同業種で働いていましたが、一緒に働いていた人に声を掛けてもらい、一緒に独立しました。
ここの売りは1人ひとりにていねいな対応。１日に３組しか引き受けないそうです。お部屋に貼ってある写真を見せていただきましたが、どの人もとても可愛い。「メイクには自信があります」とのこと。

利用者は月に200人くらい。平均年齢は35歳。母と娘で舞妓さんと芸妓さんという方もあるそうで、とても楽しい思い出になったとお礼のお手紙もたくさん届いていました。
ところでここには黒と白のトイプードルが飼われています。私たちが行った時も出迎えてくれましたが、本当にぬいぐるみが動いているみたいで超可愛い。これも必見です。（犬が苦手な人は事前に言ってもらえれば避難させますとのこと。）

「自治研集会に参加します」と言ってもらえれば、写真が一枚サービスとなります。

詳しくは下記ホームページにて
TEL:075-541-5879
http://www.maiko-kibun.com/